

## 正月写真特集

目で見る市政

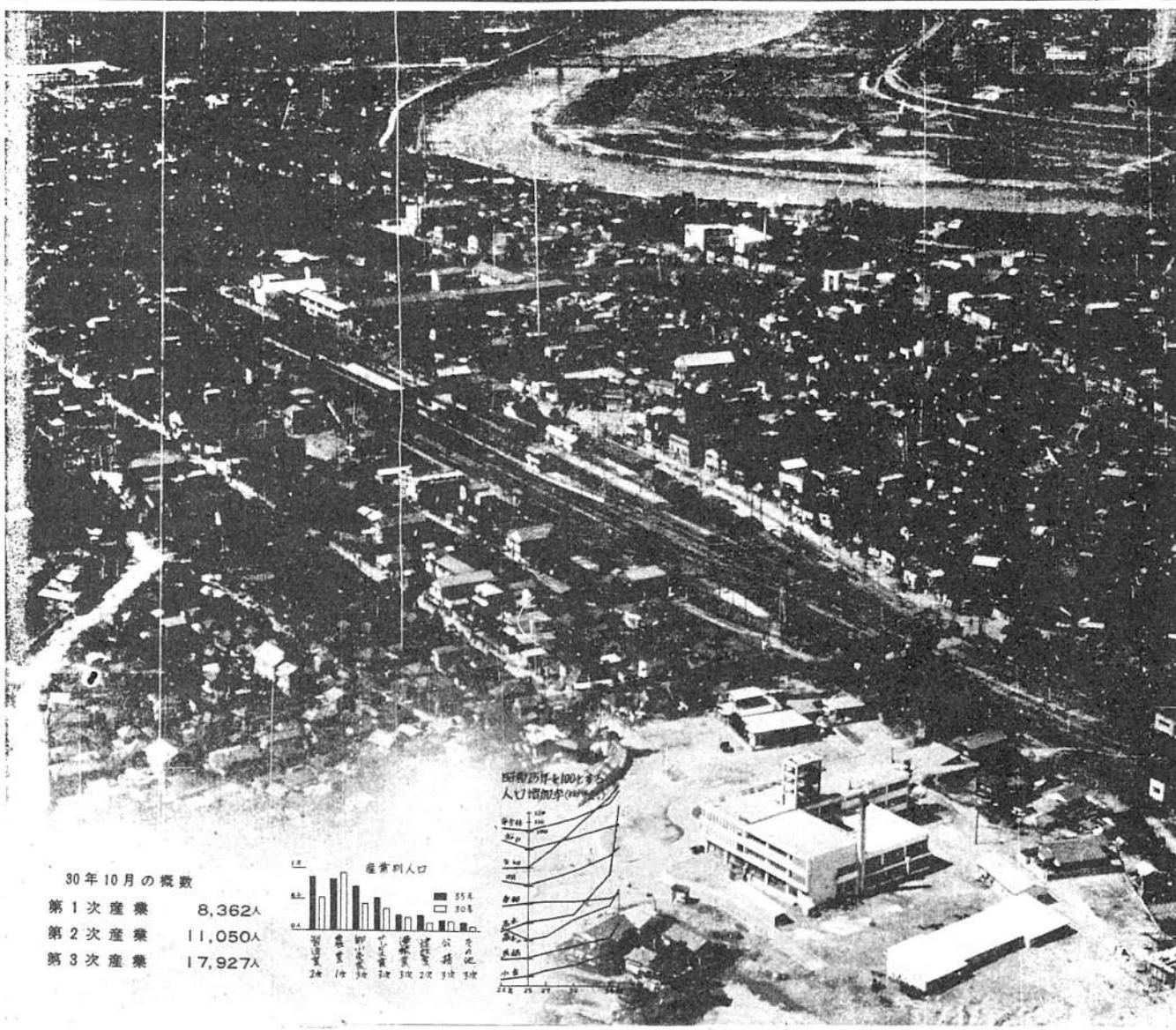
# 広報まつど



編集と発行……松戸市役所 秘書課 (電話 4121 内線14)  
No.142-37.1.1. 2万5千部にもれなく配布しております

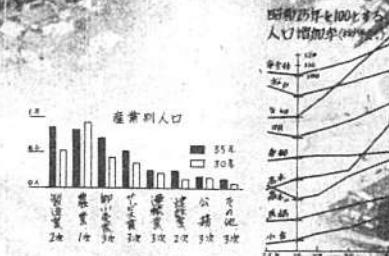
あけまして  
おめでとうございます

松戸市役所



30年10月の概数

第1次産業 8,362人  
第2次産業 11,050人  
第3次産業 17,927人



延宝四年という、江戸時代のまだはじめの、いままから約三百八十年前になりますが、このころの松戸宿の人口は、松戸市史料によると約三百人程度でした。また、二百年ほど前の天明年間で、一、五四、百五十年前の文化期の人口が一、八八六人、九十年前の明治五年が約二、五〇〇人、昨年の国勢調査人口概数が八六、七七〇人を記録人口はどうとう十万人を越しました。

このような人口増加率の点からみて最も注意すべきは目ざましい最近の人口増加ぶりです。とくに昨年の如きは年間一万五千人といふこれまでにない社会情勢を示しました。このような傾向は国民経済の安定した三十年ごろから流れ込んだ現象ですが、おりから人口の首都集中の活発化にもなって、本市のような東京周辺都市はあまたの人口のはけ口として、宅地アーバン化が起り、このような事態が生ずる至つたといわれています。

グロード・タイミングに市・公園・宅地造成事業や工場誘致などを実行なったことも大きな原因であるといわれ、その成果がこのように現れてきたともみられています。

しかししながらこのような状勢によると、ひと目で、それが少しだすさる人、口が急激に増えていくことがわかります。反対に第一次産業の農業が減つて

都内就業者内訳	
千代田区	2,405人
中央区	1,944人
葛飾区	1,674人
台東区	1,508人
その他	6,916人
計	14,447人

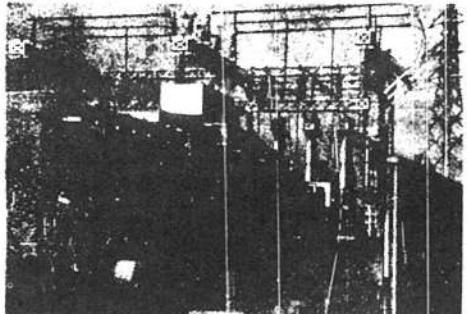
就業地別にみた人數  
(三五、一〇国調機数)

市内	21,294人	(5.7割)
都内	14,447人	(3.9割)
市川市	638人	
柏	200人	
千葉市	159人	
郡	157人	
その他	444人	
計	37,839人	

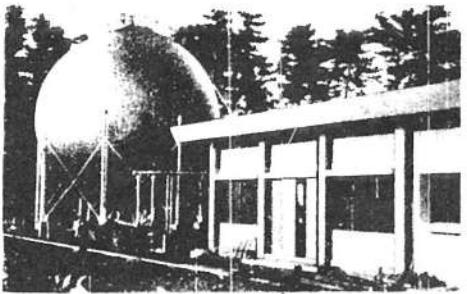
## 衛星都市化が濃厚 二・三次産業が急伸

人口増加と都市的性質

このように第二次・第三次産業(商工業)が増加するということは、全国の都市の例にとってもわかるよう、健全に発展する大中都市の一般的な傾向とされているのです。が本市の場合はこの傾向を必ずしも同じ意味にばかり考えるわけにはいかないようです。それは左表をみてわかるように、これら二・三次産業活動の面では、もはば東京都内において行なわれているからです。本市はいっぽう東京都のいわゆる衛星都市としての性格を濃厚にしつつあり、そのなかでますます近代的な中堅都市として健全に発展してきているわけです。さくら市内での産業・消費の活動が活発化するならば、市民経済はより大いに豊かになり都市的にも大发展が約束されるわけですが、その傾向がすでに目前に見えてきたようです。

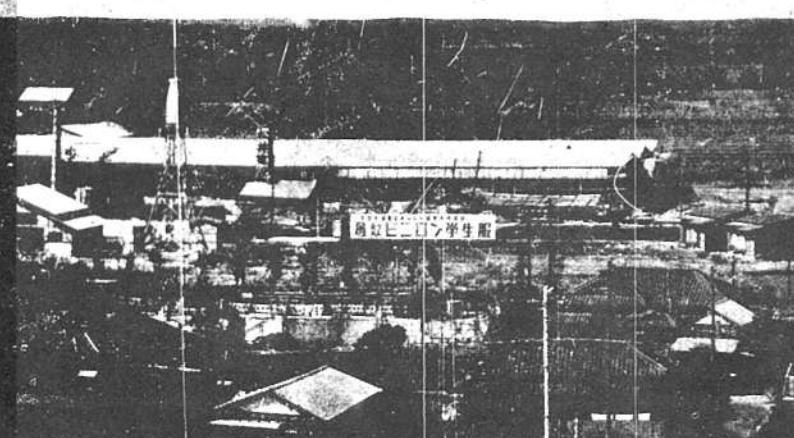
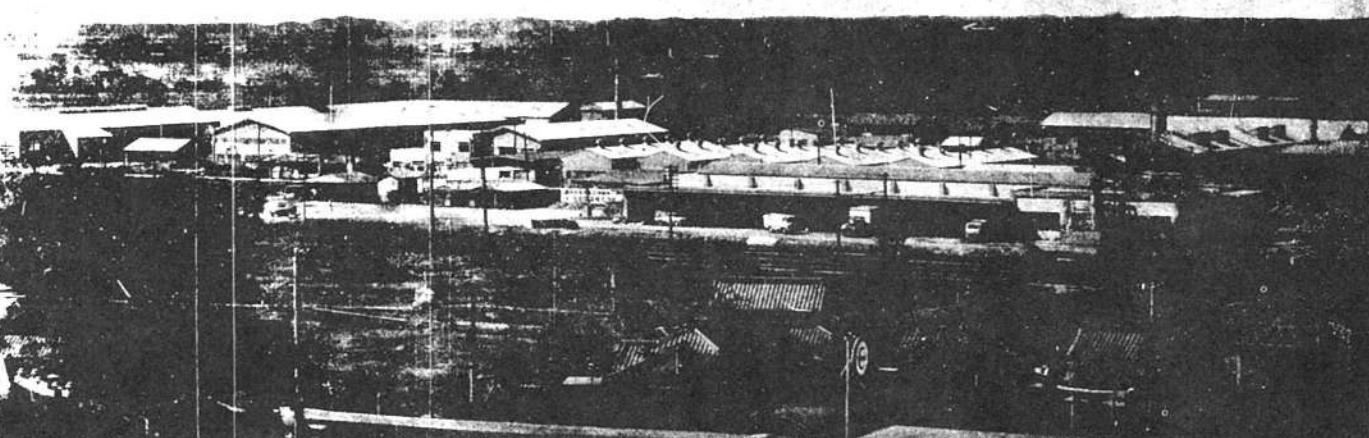
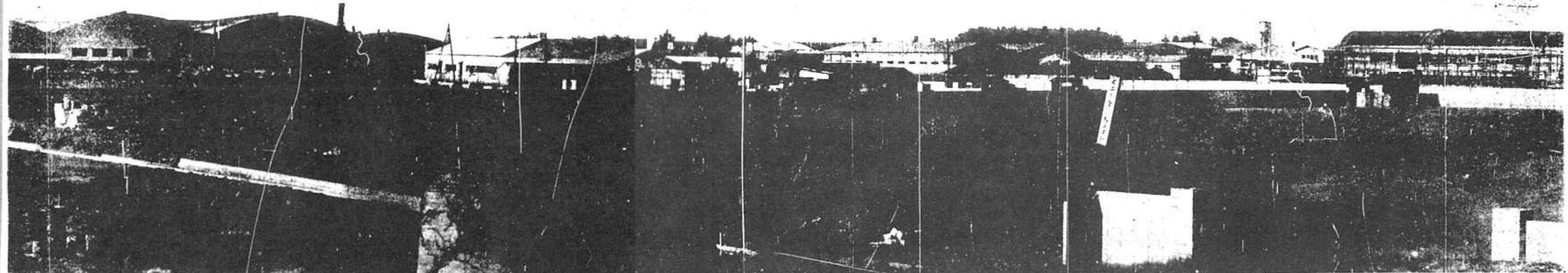


増える電力需要  
北松戸に大変電所



電力、水道、ガスの消費量  
は都市発展のパロメーター  
といわれております。従来  
は小山変電所(六千KVA)  
だけて足りていた(小金地  
区は柏変電所)電力事情も  
近年には需要に追いつかず  
其香に同出力の変電所を昨  
年新設し、最近に至っては  
北松戸に二万KVAの変電  
所を建設するような状態に  
なっております。わずか数年前  
には皆無であったガス使  
用戸数も、昨今では五千五  
百戸を越すような状況です。  
(写真②は北松戸変電所、  
下は常盤平ガスタンク)

# 伸びゆく松戸市

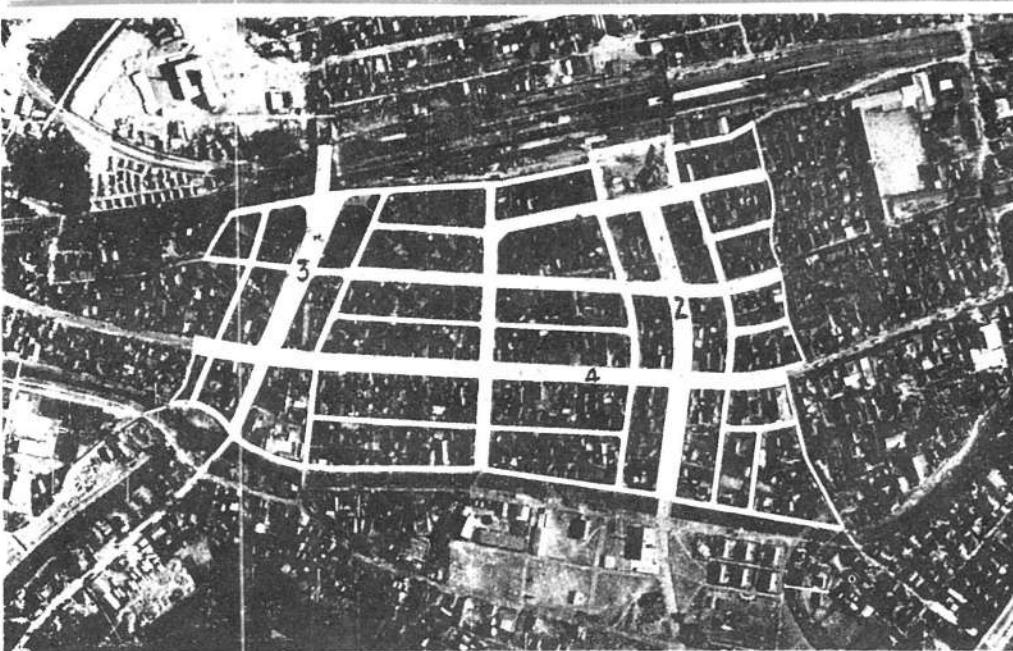


工業団地・住宅団地

我が国最大の規模  
といわれる公団市  
街常盤平の諸工事  
も昨年末いちおう  
竣工の運びとなり  
あと数箇の入居率  
年内にできあがり  
ます。

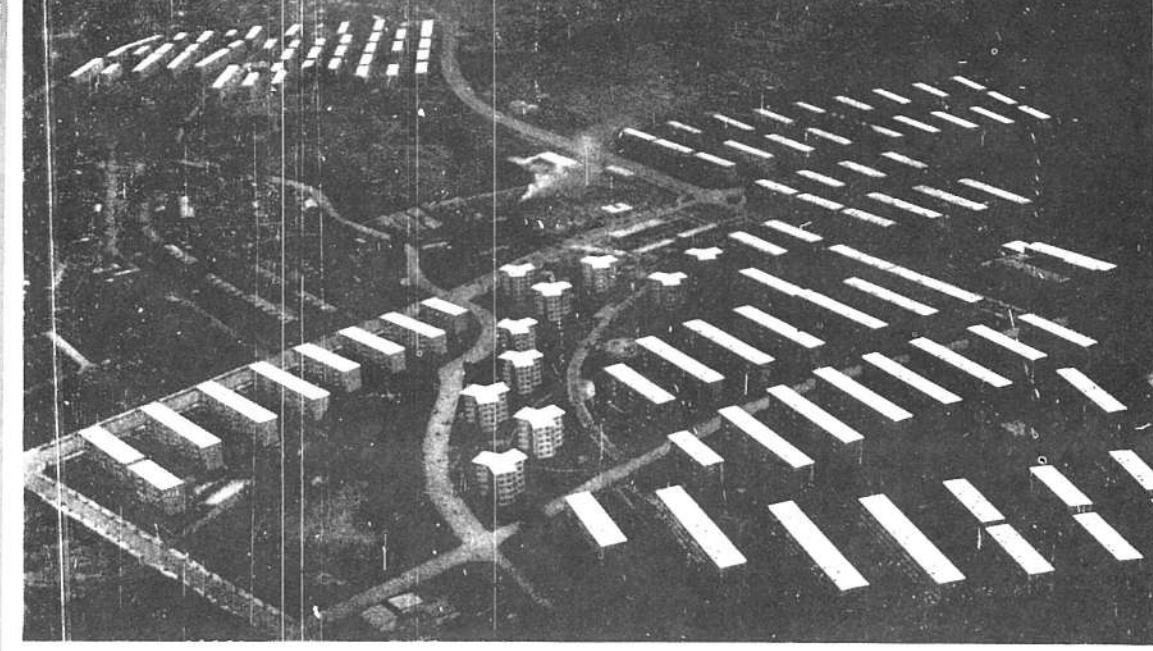
宅地分譲を経て戸  
数五千数百戸人  
口二万の副都市が  
現で一億三千万円以上か見  
込まれています。これらの工場  
が市に直接寄与するものと  
しては三十九年度から市  
はかなり大きな伸長があ  
るとしてされています。

いっぽう稔台と上本郷に一  
昨年十月から始まった工業  
団地の造成事業も着々と計  
画どおりに実現されつつあ



角町から竹ヶ花までの市街地  
人口は約二万五千人です。  
この地区はいちおう本市の中  
心地であり、ことに一・二・  
三丁目、根本は本市の消費活  
動の中心地でもあります。こ  
の地区の一部を都市改築事業  
により理想的な市街地とする  
事業はまだ着手されたばかり  
ですがことはよいよ実行  
の段階に入る年であり、その  
成果が期待されています。

【写真説明】左の市街地軽空  
右が南、左が北となっており  
自らで記入されているのが都  
市改築計画による街路です。  
もちろんこれは一つの案であ  
り、決定したものではありません  
ません。(1)が駅前広場、(2)が駅  
前街路で市販(二〇×一四・五)  
の歩道が両側にあります。(3)  
で市販十五×一・二・五の  
の歩道が両側につきます。  
その他の街路は六〇以上  
のものとなっています。



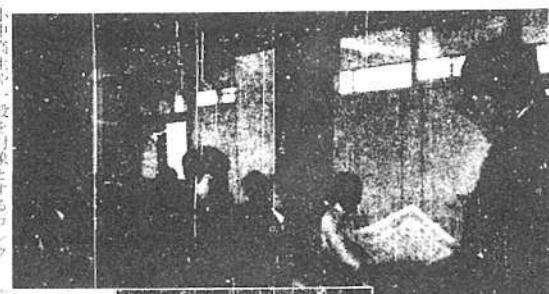
写真①は稔台工業団地

②は上本郷工業団地

③は常盤平住宅団地

## 伸びる市財政規模

写真④は稔台工業団地



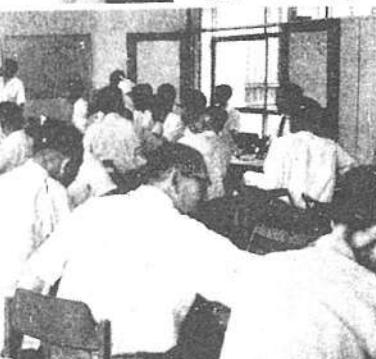
## 36年の広報写真から

数多くの昭和、十六年に広報写真から、おもなものをひもってみよしな。

まず一月に行なわれた市長選挙。これによつて現在の石橋市長が当選第1回代市長に就任した。

小児マヒ大流行のときしが早くからみられ、そのため、緊急輸入ワクの服用が決定し、十二才以下の乳幼小児の八割五分、一千七百人が投与をうけた。(⑤は市長選挙の開票)

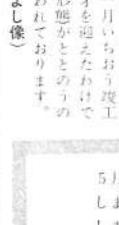
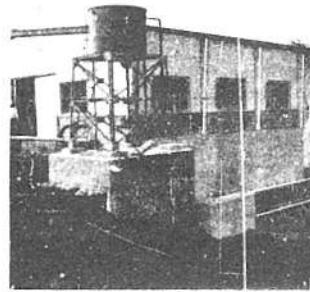
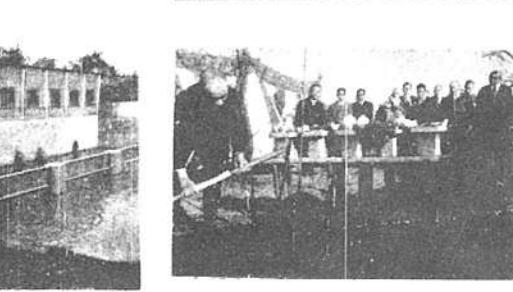
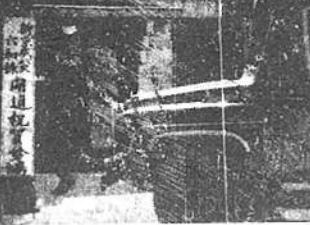
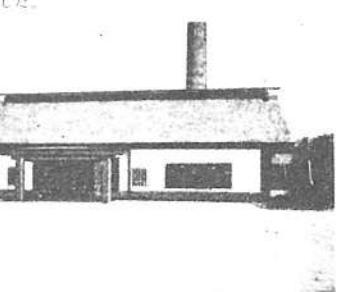
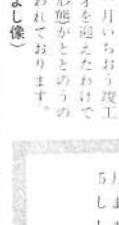
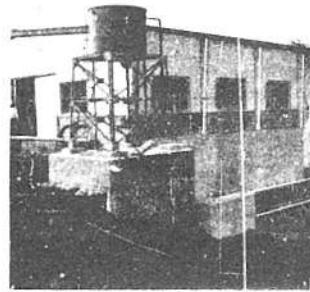
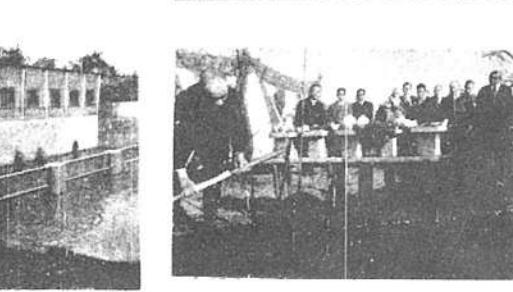
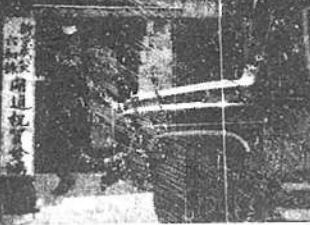
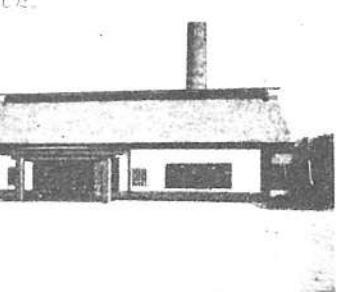
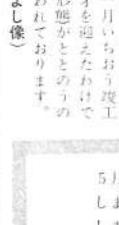
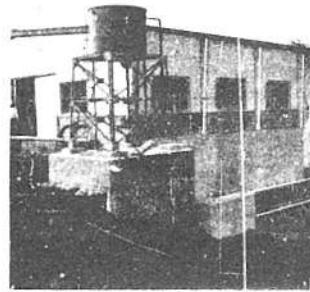
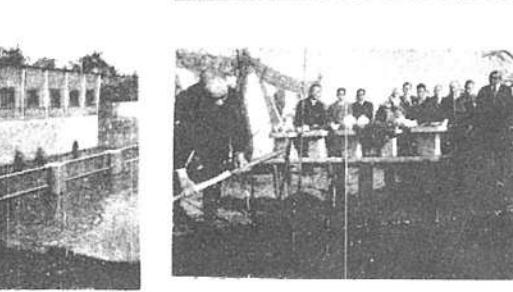
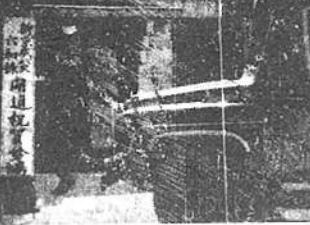
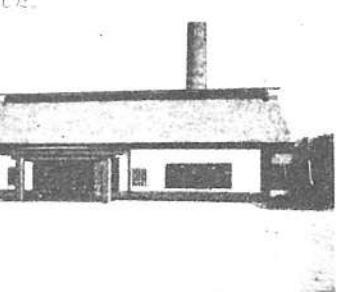
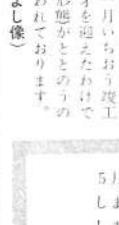
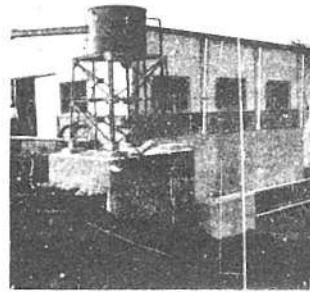
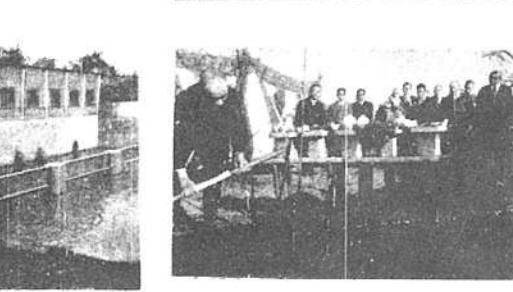
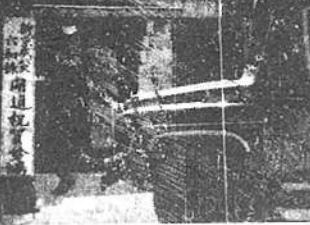
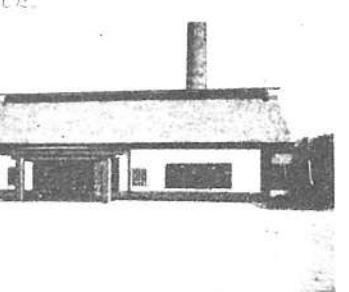
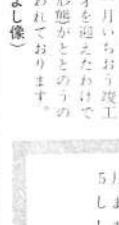
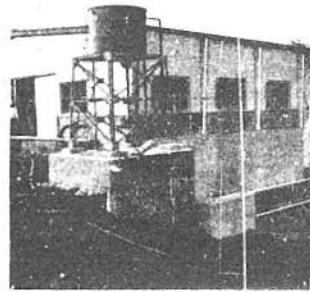
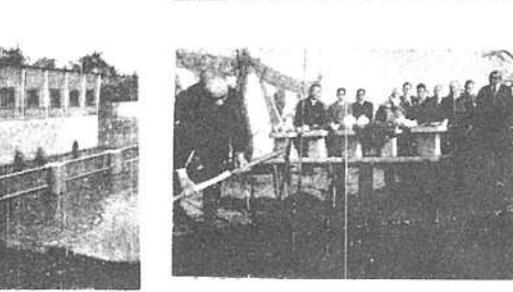
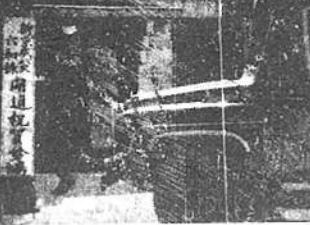
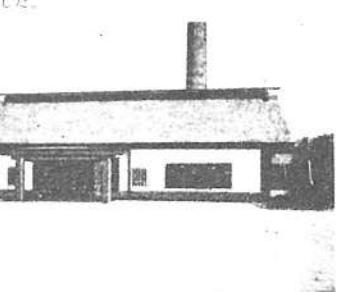
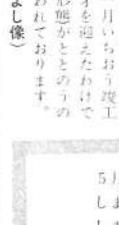
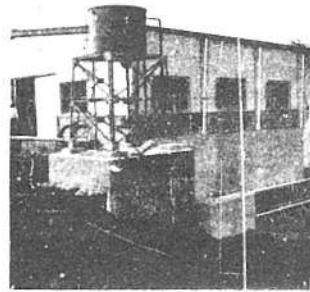
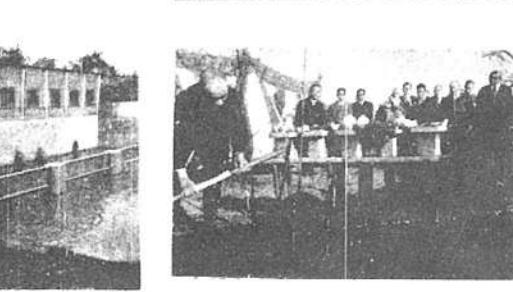
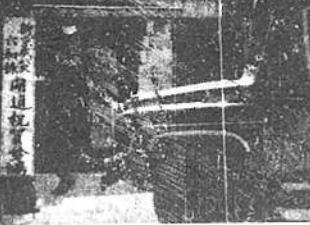
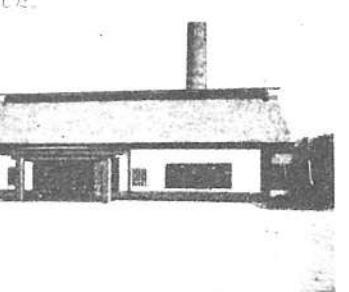
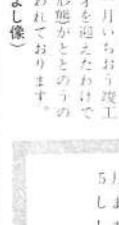
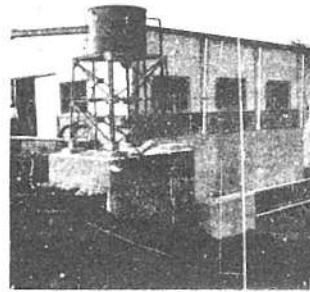
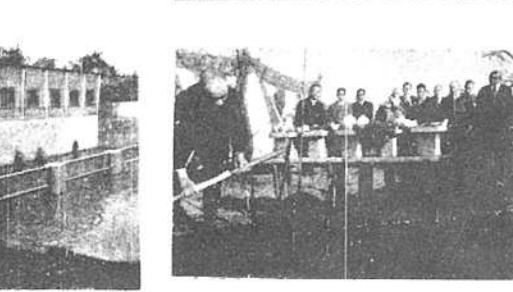
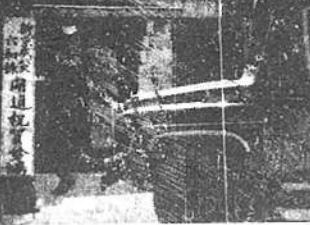
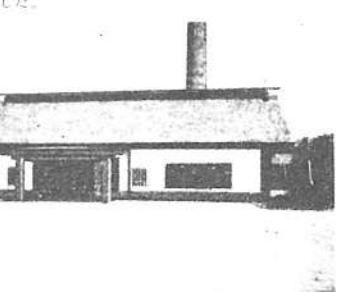
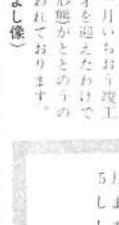
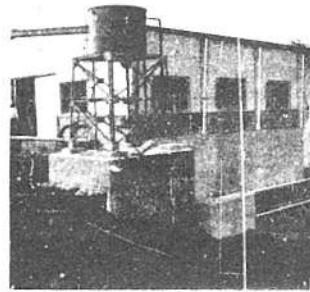
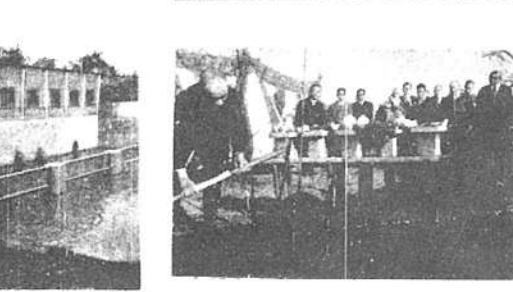
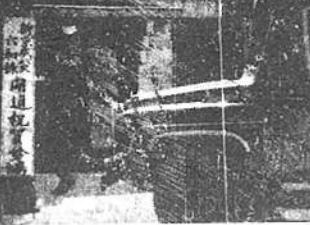
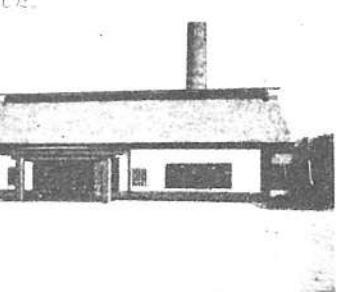
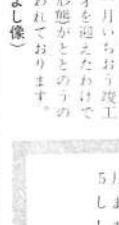
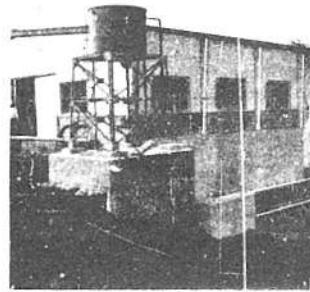
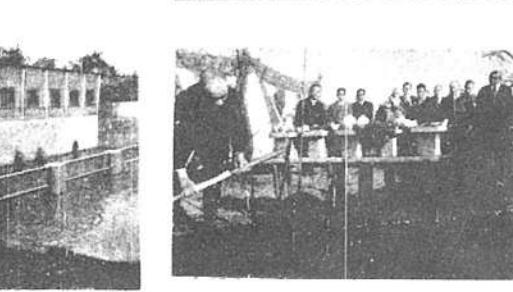
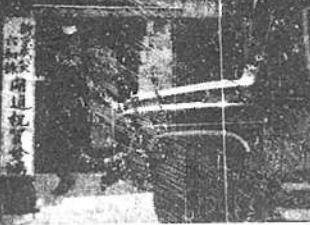
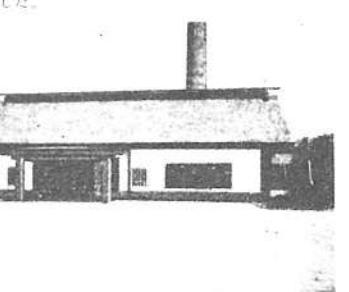
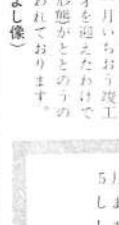
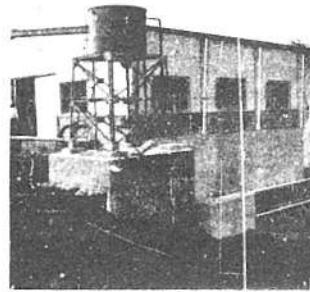
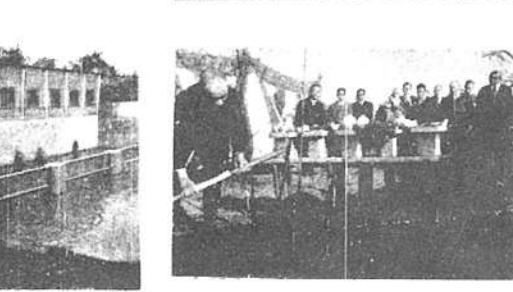
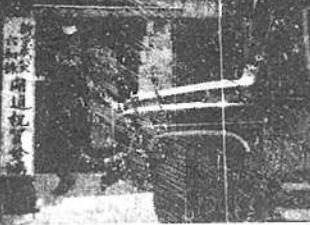
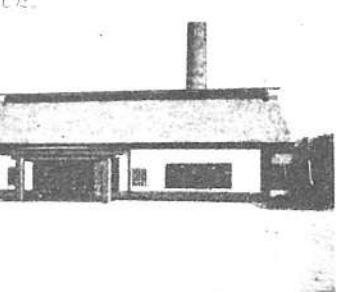
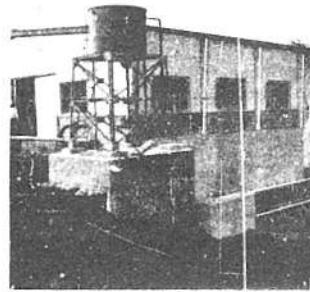
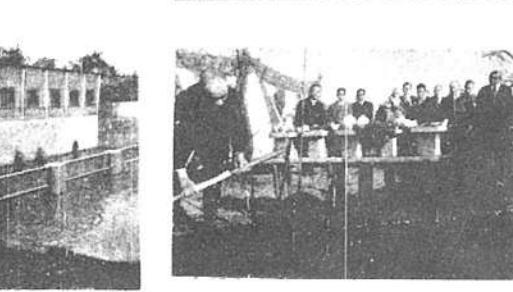
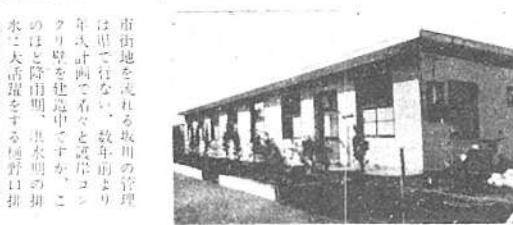
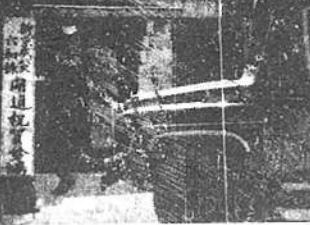
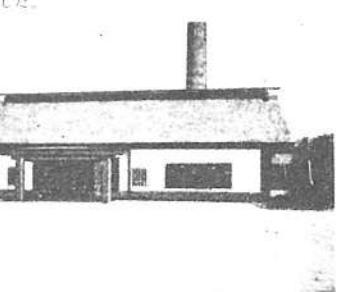
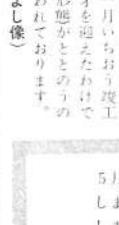
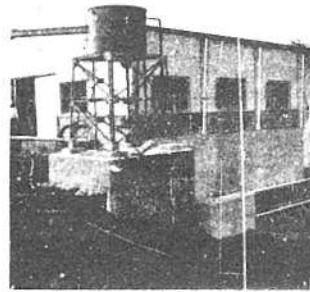
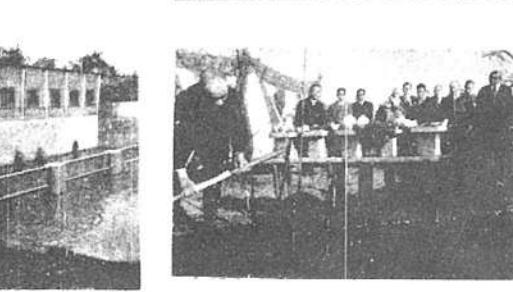
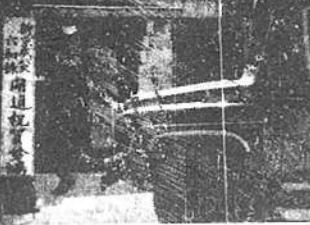
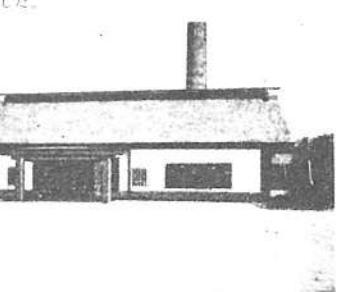
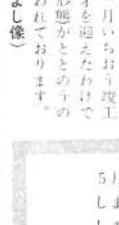
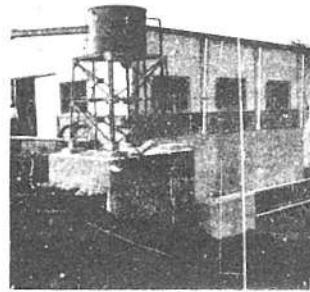
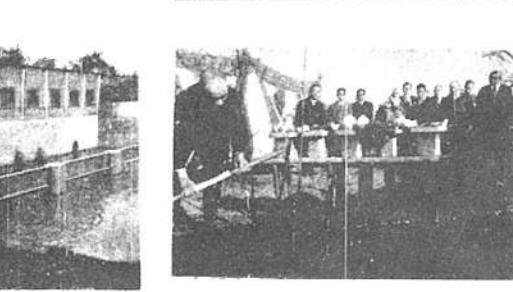
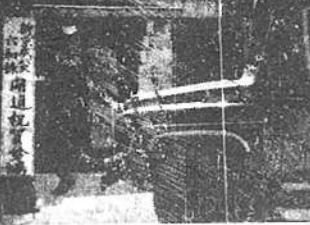
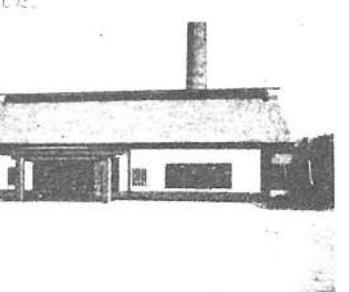
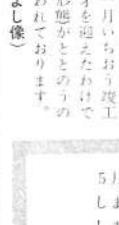
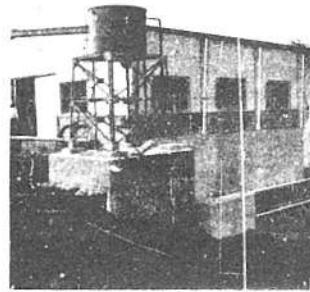
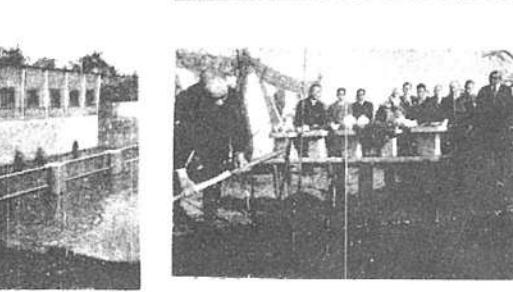
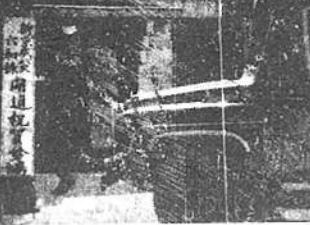
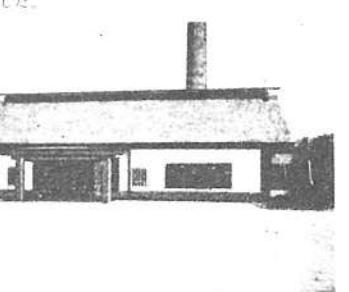
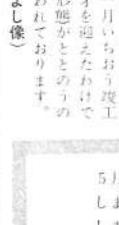
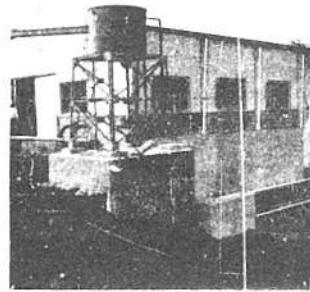
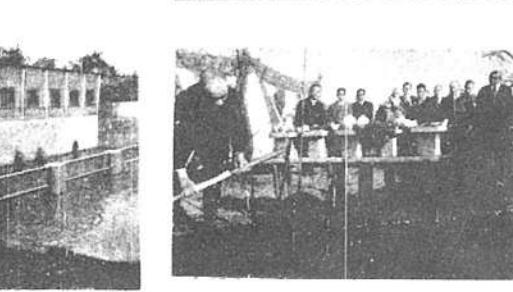
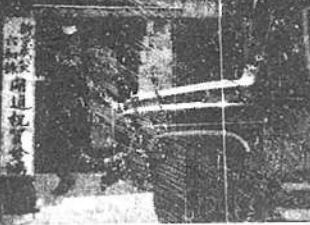
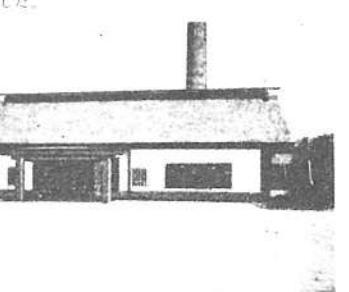
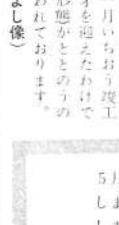
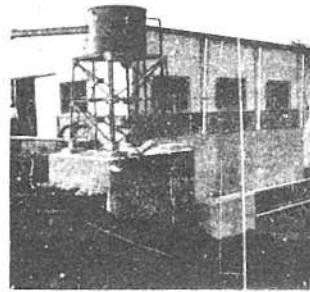
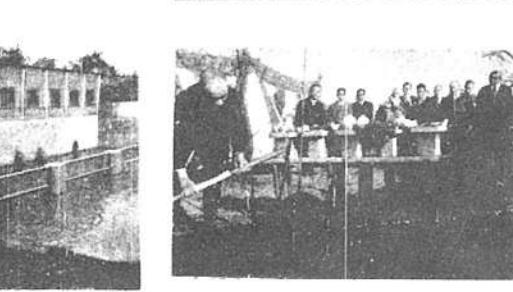
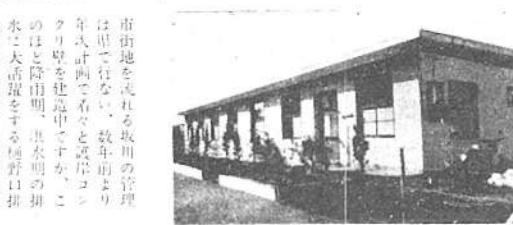
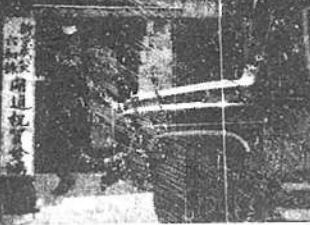
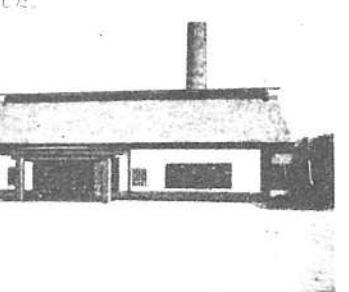
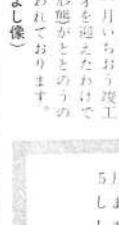
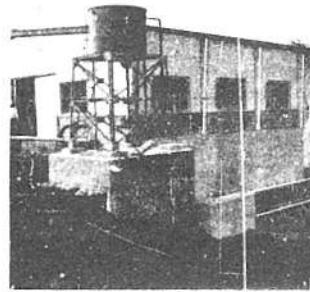
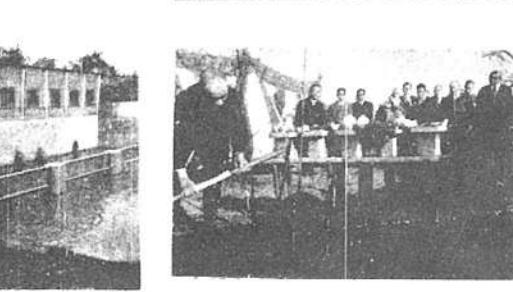
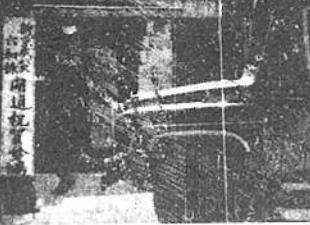
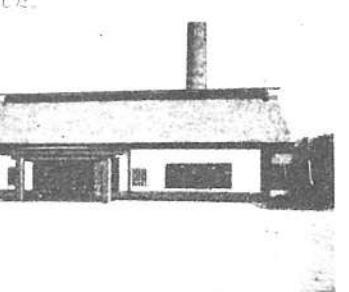
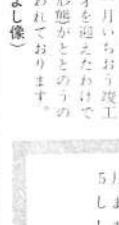
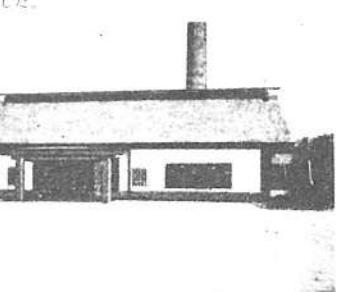
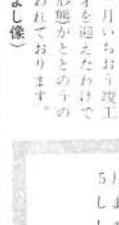
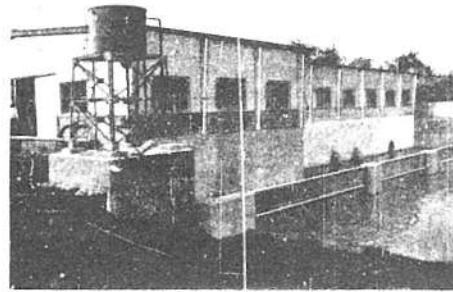
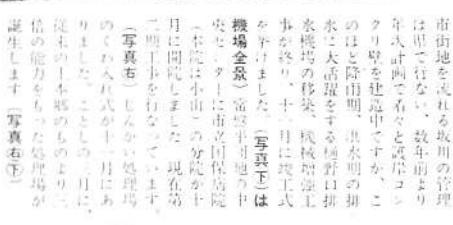
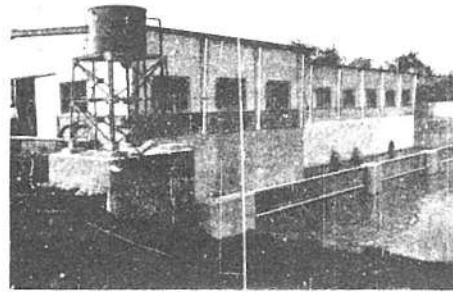
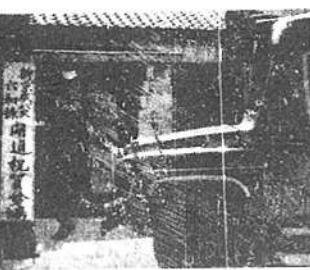
⑤は小児マヒ生ワクの投与



五十六億円かかると予想されている都市改修事業発足の初会合が七月始めに市役所で開かれました。(写真室)



5月から市営火葬場(八柱霊園東隣)が開業しました。また靈柩車が11月から運行を開始しました。













# 広報まつど

編集と発行……松戸市役所 秘書課 (電話4121内線14)  
No.144…37.3.1. 2万5千世帯にもれなく配布しております

## 税務特集号

ことしの市県民税の申告はこれまでの方法と変りました。課税方法もまた変りました。市県民税の申告についての説明書は別に印刷されておりませんので、お手許に届かなかつた方は税務課へお申出ください。また不明の点はご遠慮なくお尋ね下さい。(電話4121番・内線36番)

忘れるところです  
控除が認められません

### 市県民税の申告

3月20日まで

申告をせねば  
ならない人

▼成年者で本年1月一日現在市内に居住していた人。▼市内に住所はないが本年1月一日現在市内に事務所、事業所、家屋敷をもつていた人。▼給与所得者は原則として申告の必要はないが、給与以外の所得のある人と被扶養者、医療費の控除をうける人は原則とします。

【注意】給与所得者は勤務先から給与の支払報告書が市役所に提出されることになります。勤務先で提出の有無で、扶養親族の正誤を確認してください。

#### 申告の方法

正によつてこれまでの申告の方法や、課税方式が変りましたのでお知らせします。なお、申告書はすでに市役所に届いている方には、届いていないときも、届いてない方が税務課(支所、出張所)へ請求して下さい。三月二十日までに申告しませんと各種の所得控除が認められず、ついで不利になります。

【簡易申告書】簡易申告者以外の一般申告書と簡易申告書があります。

【一般申告書】簡易申告者以外の方はこれによつて申告します。申告紙は該当者に郵送してあります。しかし、届いてない方は税務課(支所、出張所)へ用紙を請求してください。

【所得控除】所得から差引(医療費控除)昨年中に自分とか扶養親族に係る医療費で、その支拂った金額から控除金額、退職金を算定する前に所得金額から控除金額を差引いたり、所得を減らす計算になります。

(医療費控除)昨年中に自分とか扶養親族に係る医療費で、その支拂った金額から控除金額、退職金を算定する前に所得金額から控除金額を差引いたり、所得を減らす計算になります。

(社会保険料控除)昨年中に自分とか扶養親族の負担すべき社会保険料を差引いたり、専従者

所得控除といふ)を差引いたり、(扶養親族の所得より少ない人)(市内に事務所や家屋敷を持っているが市内に控除をしたりすることになります。

### 新しい課税方法

#### 扶養の種類

##### 所得控除

かかる金額

所得控除

</div







常盤平支所設置  
特集号

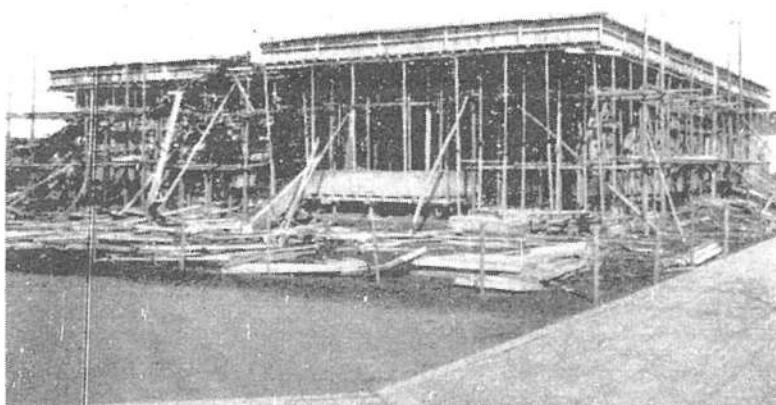


# 広報まつど

編集と発行……松戸市役所 秘書課 (電話4, 121内線14)  
号外……37. 4. 2.

## 本号配布区域

金ヶ作、日暮、千駄堀栗ケ沢、五香六実、串崎新田、  
松飛台、高柳、高柳新田、  
八ヶ崎、中和倉



(写真は建設中の常盤平支所)

## 常盤平支所を設置 事務は六月まで西集会所で

四月一日から高木出張所と高木第二両出張所を合せて七千五百という二出張所が統合され、新しく常盤平支所として場所も常盤平地区内に開所されます。これほど存知のようこの地区が最近急激な発展を遂げ、世帯数もたまたま、この高木、高木第二両

出張所の踏止については、地元の状態となつたため、この地区的市行政の窓口を拡充する必要が生じたもので、この支所設置について市議会の承認を得てはあります。また、この高木、高木第二両

出張所の反対があり、陳情書も提出されました。市議会の仲介で市が地元の希望条件を受け入れることにより了解されたのです。

常盤平支所は開地のほど中心地にあたる十字路(凸版参照)付近にただいま建設中です。

支所ができあがるのは五月末の予定ですので、それまでの仮庁舎として別団の西集会所をこれにて、この西集会所で業務をいたします。

出張所を連絡所として存置

従来の高木、高木第二両出張所は常盤平支所々属の連絡所として存置されることになりました。なお、旧高木第一出張所で所管し

馬橋出張所へ向原は小金支所へ向原は小金支所へ

1 常盤平支所の所管区域

金ヶ作・日暮・千駄堀・栗ヶ沢

・五香六実・串崎新田・松飛台

・高柳・高柳新田

(従前の高木と高木第二出張所の所管区域から、中和倉・八ヶ崎を除いた区域)

2 小金支所の所管区域

従前の所管区域に八ヶ崎字向原

を加える。

3 馬橋出張所の所管区域

従前の所管区域に中和倉、八ヶ

崎(字向原を除く)を加えた区

域。

中和倉・八ヶ崎は

馬橋出張所へ

向原は小金支所へ

1 常盤平支所の所管区域

金ヶ作・日暮・千駄堀・栗ヶ沢

・五香六実・串崎新田・松飛台

・高柳・高柳新田

(従前の高木と高木第二出張所の所管区域から、中和倉・八ヶ崎を除いた区域)

2 小金支所の所管区域

従前の所管区域に中和倉、八ヶ

崎(字向原を除く)を加えた区

域。

3 馬橋出張所の所管区域

従前の所管区域に中和倉、八ヶ

崎(字向原を除く)を加えた区

域。

4 水道料金賦課・微取

5 ふん尿処理

6 施工登録

7 生活保護扶助費支給

8 市税収納・微取

9 み取事処理申請

10 道路臨時占用許可

11 街路灯電球交換

12 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

13 水道料金賦課・微取

14 ふん尿処理

15 施工登録

16 生活保護扶助費支給

17 市税収納・微取

18 み取事処理申請

19 道路臨時占用許可

20 街路灯電球交換

21 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

22 水道料金賦課・微取

23 ふん尿処理

24 施工登録

25 生活保護扶助費支給

26 市税収納・微取

27 み取事処理申請

28 道路臨時占用許可

29 街路灯電球交換

30 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

31 水道料金賦課・微取

32 ふん尿処理

33 施工登録

34 生活保護扶助費支給

35 市税収納・微取

36 み取事処理申請

37 道路臨時占用許可

38 街路灯電球交換

39 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

40 水道料金賦課・微取

41 ふん尿処理

42 施工登録

43 生活保護扶助費支給

44 市税収納・微取

45 み取事処理申請

46 道路臨時占用許可

47 街路灯電球交換

48 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

49 水道料金賦課・微取

50 ふん尿処理

51 施工登録

52 生活保護扶助費支給

53 市税収納・微取

54 み取事処理申請

55 道路臨時占用許可

56 街路灯電球交換

57 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

58 水道料金賦課・微取

59 ふん尿処理

60 施工登録

61 生活保護扶助費支給

62 市税収納・微取

63 み取事処理申請

64 道路臨時占用許可

65 街路灯電球交換

66 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

67 水道料金賦課・微取

68 ふん尿処理

69 施工登録

70 生活保護扶助費支給

71 市税収納・微取

72 み取事処理申請

73 道路臨時占用許可

74 街路灯電球交換

75 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

76 水道料金賦課・微取

77 ふん尿処理

78 施工登録

79 生活保護扶助費支給

80 市税収納・微取

81 み取事処理申請

82 道路臨時占用許可

83 街路灯電球交換

84 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

85 水道料金賦課・微取

86 ふん尿処理

87 施工登録

88 生活保護扶助費支給

89 市税収納・微取

90 み取事処理申請

91 道路臨時占用許可

92 街路灯電球交換

93 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

94 水道料金賦課・微取

95 ふん尿処理

96 施工登録

97 生活保護扶助費支給

98 市税収納・微取

99 み取事処理申請

100 道路臨時占用許可

101 街路灯電球交換

102 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

103 水道料金賦課・微取

104 ふん尿処理

105 施工登録

106 生活保護扶助費支給

107 市税収納・微取

108 み取事処理申請

109 道路臨時占用許可

110 街路灯電球交換

111 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

112 水道料金賦課・微取

113 ふん尿処理

114 施工登録

115 生活保護扶助費支給

116 市税収納・微取

117 み取事処理申請

118 道路臨時占用許可

119 街路灯電球交換

120 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

121 水道料金賦課・微取

122 ふん尿処理

123 施工登録

124 生活保護扶助費支給

125 市税収納・微取

126 み取事処理申請

127 道路臨時占用許可

128 街路灯電球交換

129 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

130 水道料金賦課・微取

131 ふん尿処理

132 施工登録

133 生活保護扶助費支給

134 市税収納・微取

135 み取事処理申請

136 道路臨時占用許可

137 街路灯電球交換

138 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

139 水道料金賦課・微取

140 ふん尿処理

141 施工登録

142 生活保護扶助費支給

143 市税収納・微取

144 み取事処理申請

145 道路臨時占用許可

146 街路灯電球交換

147 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

148 水道料金賦課・微取

149 ふん尿処理

150 施工登録

151 生活保護扶助費支給

152 市税収納・微取

153 み取事処理申請

154 道路臨時占用許可

155 街路灯電球交換

156 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

157 水道料金賦課・微取

158 ふん尿処理

159 施工登録

160 生活保護扶助費支給

161 市税収納・微取

162 み取事処理申請

163 道路臨時占用許可

164 街路灯電球交換

165 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

166 水道料金賦課・微取

167 ふん尿処理

168 施工登録

169 生活保護扶助費支給

170 市税収納・微取

171 み取事処理申請

172 道路臨時占用許可

173 街路灯電球交換

174 公園使用許可(住宅公團か

ら譲り受け後)

175 水道料金賦課・微取

176 ふん尿処理

177 施工登録

178 生活保護扶助費支給

179 市税収納・微取







# 白い羽根募金

赤十字活動の資金となる白い羽根募金が始つております。(5月1日～6月30日)よろしくご協力ください。

# 広報まつど

編集と発行……松戸市役所・秘書課(電話4121内線14)No.147…37,5,15,…2万6千世帯にもれなく配布いたします。

## 昨年度の人口増加

昨年度の本市住民登録人口による増加は人口が113,928人。世帯は4,240世帯でした。

世帯	人	世帯	人
36.4	94,635	10	103,413
5	95,710	11	104,541
6	96,355	12	105,546
7	96,933	37.1	106,346
8	99,873	2	107,109
9	101,128	3	108,563



## ことしの県道舗装

### 根本…上本郷線を7月から 矢切の未舗装も解消へ

ことしからは新国事業も第二期工事に入り、小山以南の用地買収が行なわれます。市道については4月号でお知らせしたように市単独事業、補助事業、失効事業と、いろいろの事業形態で舗装、改修などの工事が行なわれます。また、市内の主要幹線道路としての県道の詰装と改修工事は関心の深い問題で、昨年度に引き続き本年度も次々と行なわれる予定です。これを項目をたててお知らせします。

の旧国道の跡地

三六年度では小山から根本まで

行きましたが、ことしは越後橋

から山まで、根本から上本郷三

又路まで舗装するので、工事

も現行的な改修工事を行ないつつ

あります。

それは市で工事の半額を負担

します。

これは大分前から建設の要望で

あった問題で、左端から栗山坂

までの未舗装区間を舗装します

これは市で工事の半額を負担

します。

これは大分前から建設の要望で

あった問題で、左端から栗山坂

までの未舗装区間を舗装します

これは市で工事の



























台地いっぱいの建物あと

古墳時代の住居集落跡も発見

全国で初めてといわれる古墳時代の大型、大規模な城跡の発見です。既に述べた通り、この城は、その面積からいって、まさに「百石城」に及ぶもので、その全面的な構造が、今後、さらに明らかになります。それによって、八千五百石を及ぶこの地の全面的な歴史が明らかになります。月ほどの期間は、調査的の計画が終わら、作業が進みます。それで、おまかせします。先日、ついでに木村は、その後の祭祀越え大きなかなにおまかせししました。つづく。

なわれた。そして最後に「出し  
守」の名が付く。その名の由来は、  
腰袋を示すが眞ですが、四内  
三十六前城の城主の姓として、  
千五百年前の古墳時代のものと  
いたる腰袋もその古い腰袋だ  
といふ。上に「大和守」といふ  
していながらも何時にもわからぬし  
ない。腰袋(腰袋)とあるが、か  
くして腰袋(腰袋)といふ。腰袋(腰袋)  
腰袋(腰袋)などと云ふ、数々の義理  
ある作業は、

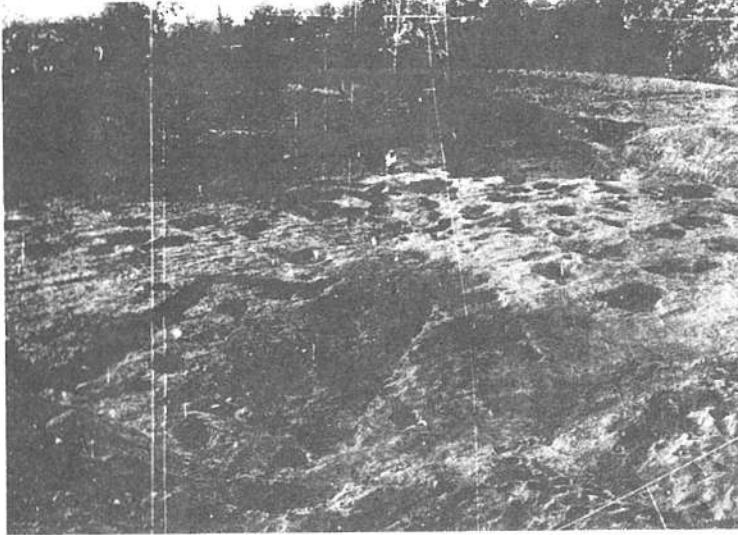
城の建物が直角一辺以上の巨木や  
その枝をなびかせて、その中城、本城  
の敷地は、常に開闊していかるもの  
と思われています。  
お城の構体の遺物は、現在までに釣  
の城跡、鐵砲の弾丸、頭の骨等を  
配列されてゐる館  
のわからぬものも見受けられ、こ  
の歴史的調査資料となつてお  
ます。  
おおじ付近から明暦（1655年）が  
何時からいつまであるか。この  
種の眞跡は、外馬場のほど中心あたり  
りからも見えております。後

す。他のいじめたりローラー等の  
ひわれを防ぐために裏に裏打ちがあ  
ります。

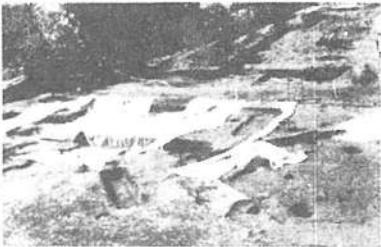
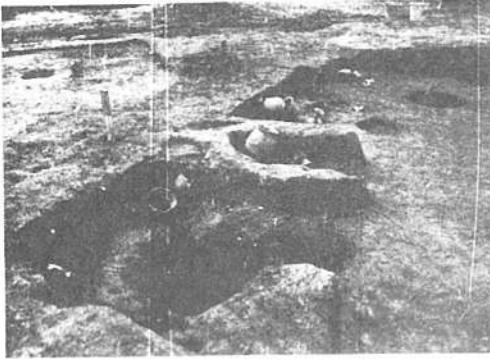
大國からである。

高城氏のこと

金家の功業に對するお守りした  
そのときその子の源則はわずか  
十二才であったが、三代目大谷  
城主となり、手勢千騎をひき  
つれ、天正十八年（一五九〇）  
小田原城へ上りて北条に仕えた。



【写真下は土師の住居あとに同居する城の建物あとの柱】



## 内ほりの底に水草が がけでは焼貝の屋

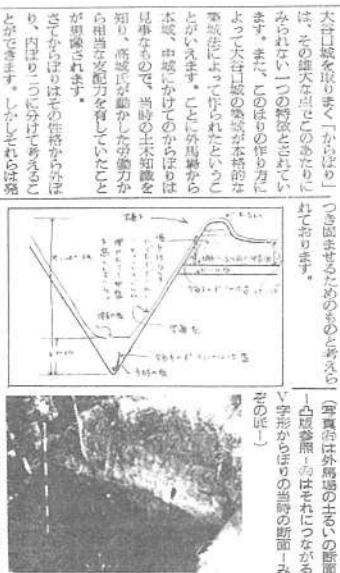
がけでは焼貝の層を発見

十一月に西十六を越へ中

## 大谷口城のつくり方

111

— 402 —



大日山の要塞は、明治三十一年に舊手玉至十六年で完成したといふ。これまでから、工事は八年かの月年月費を以て算出する。大谷城は平山城といふ形の城で、このあたりは必ずそのいわゆる地形の城であります。千畳敷には能登守から入りて千代氏の佐藤守となりました。三十五年に大谷守に陞り、五十七年に大谷守に昇進されましたが、五十九年に大谷守に昇進されました。元治十八年、手玉守を除く。佐藤守の勤王は、手玉守を除く。大日山初代の

「平山は戦国末期平城  
からいに新しい形の城壁だけ  
で、その他の施設は一切行なわ  
なかった。」  
『東北の歴史』(岩波新書) 1963年  
著者: 長谷川一郎  
出版社: 岩波社  
定価: 1,000円







